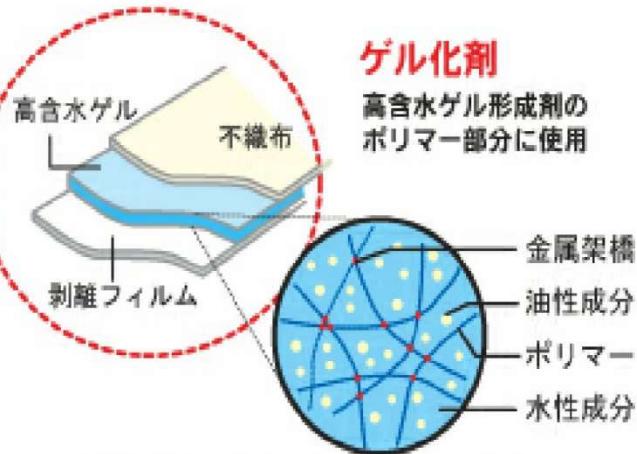


1. 特徴

アクリル酸（ナトリウム）のポリマーは、分子内に多量のカルボキシル基（-COOH）を含むアニオン性高分子です。直鎖状のポリアクリル酸（ナトリウム）の水溶液は、粘稠で粘着力のある曳糸性のないゲルを形成します。各種ポリアクリル酸（ナトリウム）の組合せ、更に架橋剤を併用することで、ゲル強度と粘着力を加味した耐水性のゲルを設計することが可能となります。これらの技術は、医薬品のパップ剤をはじめ、冷却シートやパップ剤等の医薬部外品および化粧品の分野で幅広く応用されています。

2. 用途



- アロンビス：基材（粘着剤、保水剤）
 - ジュリマー：粘着増強剤
 - ジュンロン：賦形剤（不織布の裏抜け防止用）
 - レオジック：賦形剤（不織布の裏抜け防止用）
- 上記製品に架橋剤、保湿剤、薬効成分等をブレンドすると水含水ゲルとなります。
(配合例は技術資料参照)

3. 製品ラインナップ

形態	品名	性状					組成	法規対応		特徴	用途例	
		固形分 % (粉末品は 乾燥減量%)	粘度 mPa·s/25℃ (水溶液濃度、 温度:粉末品のみ)	pH (水溶液濃度)	分子量 Mw	かさ比重 (g/L)		薬添規適合	外原規適合			
アロンビス	粉末	SX	5%以下	400~600 (0.2%、30℃)	8.0~10.0(0.2%)	400~500万	-	ポリアクリル酸ナトリウム	0	0	粘稠、高い粘着力、奥糸性、 架橋剤を併用することで、 ゲル強度と粘着力を加味した 耐水性ゲルの設計が可能	
		MX	5%以下	200~400 (0.2%、30℃)	8.0~10.0(0.2%)	200~300万	-		0	0		
		AHX	5%以下	500~650 (0.2%、20℃)	6.5~7.5(0.2%)	400~500万	-		0	0		
		AH-105X	5%以下	500~650 (0.2%、20℃)	6.0~7.0(0.2%)	400~500万	-	ポリアクリル酸ナトリウム 部分中和物	0	0	強説性液、各種アルコール、 多価塩水溶液 等の増粘、粘稠、 高い粘着力、奥糸性、架橋剤を 併用することで、ゲル強度と 粘着力を加味した耐水性ゲルの設 計が可能	
		AH-106X	5%以下	500~650 (0.2%、20℃)	5.5~6.5(0.2%)	400~500万	-		0	0		
		AH-305X	5%以下	400~600 (0.2%、30℃)	6.0~7.0(0.2%)	-	-	特殊ポリアクリル酸 ナトリウム部分中和物	-	-	バック剤等の医薬部外品	
ジュンロン		PW-120	5%以下	8,000~20,000 (0.2%中和、25℃)	2.5~4.0(0.2%)	-	0.3~0.5	架橋型ポリアクリル酸	0	0	中性域におけるチキソ性、 奥糸性なし	
		PW-312S	5%以下	15,000~25,000 (0.2%中和、25℃)	2.5~4.0(0.2%)	-	-		0	0		
レオジック		260H	7%以下	7,000~13,000 (0.5%、25℃)	8.0~9.0(0.5%)	-	0.3~0.6	架橋型ポリアクリル酸 ナトリウム	0	0		
		262L	7%以下	1,500~3,000 (0.5%、25℃)	8.0~9.0(0.5%)	-	0.3~0.6		0	0		
ジュリマー	水溶性	AC-10L	40±1	1,000~2,000	2.0~3.5(1%)	70,000	-	ポリアクリル酸	-	0	外原規適合	
		AC-10H	20±1	20,000~40,000	2.5~3.5(1%)	80万	-		-	0		
		AC-10SH	10±1	70,000~200,000	2.5~3.5(1%)	160万	-		-	0		
	エマルジョン	EM-178	59±3	<1,000	2.0~5.0	-	-	ポリアクリル酸エステル	0	-	-	

4. 注意事項

法令を遵守し、弊社SDSをご参照の上、ご使用ください。



ポリマー・オリゴマー事業部 ポリマー部

本社営業部 〒105-8419 東京都港区西新橋1-14-1

TEL:03-3597-7337

大阪支店 〒530-0005 大阪市北区中之島3-3-3

TEL:06-6446-6564

名古屋支店 〒460-0003 名古屋市中区錦1-4-6

TEL:052-209-8593

作成:2010年1月5日

改訂:2024年6月

ここに掲載されている内容は細心の注意を払って行われた実験事実に基づくものですが保証値ではありません。